

第1回 富士見市安全安心なまちづくり防犯推進市民懇談会
会議録

日 時 令和3年10月26日(火) 19:00~20:20

場 所 富士見市役所 市長公室

出席者 ◎市民懇談会

清水	関本	高野	高橋
○	×	○	○
富田	羽石	藤井	吉原
○	○	○	○

◎事務局

【協働推進課】佐々木課長・長根副課長・富永主査・田中主任

1 開 会

2 あいさつ

佐々木協働推進課長

3 自己紹介

参加者と事務局の自己紹介を行った。

4 懇談事項

富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画の中間見直しについて

富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画の中間見直しについて事務局より説明を行い、意見を求めた。参加者からの意見については以下のとおり。

(参加者) 青少年育成市民会議では、子ども110番の家の三角旗を学校やPTA、町会の協力を得ながら設置している。子どもが助けを求めて飛び込む家が多くあるということで抑止力につながっていると思う。

(参加者) 駅前に交番やパトロールステーションを設置することで犯罪に対する抑止力が上がるのではないかと。防犯カメラも事件等発生後の捜査などには有効であると考えているが、抑止力という観点では疑問がある。

(参加者) 防犯カメラを設置しており、東入間警察から画像の提供依頼がよく来るが、この前神戸から警察官が来た。事件の捜査で1か月ほど滞在して捜査すると聞いた。捜査に役立っているので検挙率はあがっているのではないか。

(参加者) 自主防犯パトロールや青色防犯パトロールカーによる巡回など、市と市民が協働で行う防犯活動が犯罪率低下につながったと思う。今後も継続するべき。

(参加者) 通学路の安全点検について、点検内容を伝達してゆくことが大切だと考える。また、安全点検や通学路の防犯カメラ設置についての指針などがあると不明確な状態よりも共通の意識をもって考えやすいのではないか。

(参加者) それぞれの機関でできること、できないことがあるので、一番大切なことは各機関の連携だと考える。

(参加者) 公園等の植栽が大人の背丈位伸びているところがあり、小学生が歩いていても見えない箇所がある。基準を設けて定期的に剪定してほしい。

(参加者) スクールガードリーダーをはじめとした児童生徒の見守りについては学校ごとに取り組みの違いもあり、実態がよくわからない部分がある。それぞれの取り組みについて周知を行いより広く知ってもらう必要がある。

5 今後の予定について
次回の会議について日程調整を行った。

6 閉会

以上